

# 12月「19の日」行動

自・公与党と維新による改憲は許さない！  
市民と立憲野党の共闘で憲法、命と暮らしを守ろう

総選挙の結果、多くの小選挙区で、立憲野党の統一候補や選挙協力により、自公与党に勝利するなどの成果をあげましたが、批判を集めきれず、政権交代にはなりません。政治への不満をかすめ取って維新の会が伸び、国会では、与党に加え、維新の会と国民民主党も加わった改憲論議が急速に強まっています。

これまで国会の三分の二を改憲勢力が握る状況が生まれましたが、世論と市民の運動が国会の立憲野党と共闘して、政治の暴走を阻んできました。

今こそ力を合わせて、改憲を許さない国民の世論を高めることが求められます。コロナの感染爆発による医療崩壊の危機は、自公政権の「人災」です。しかし、岸田政権は、第6波の感染拡大が懸念される中、補正予算で7000億円を超える防衛費を計上し、どさくさに紛れて、大軍拡をすすめています。安倍・菅政権の延長ではなく、命と暮らしを守る政治を求めましょう。そのためにも新たに提起された、「改憲に反対し市民の命と生活を守るための新署名」の取り組みを開始し、多くの市民との対話を開始しましょう。市民連合と立憲野党の共通政策を、さらに前に進めるため、「憲法守れ！」「命と暮らしを守る政治を！」の声をあげましょう。



とき **12月19日（日）**

**午後4時30分～ 街頭スピーチ**

**デモを予定します。マスク等感染対策をしましょう。**

ところ **京都市役所前（御池通側歩道）**

呼びかけ **安保法制廃止をめざす市民アクション@京都**